

■ MM シャトル運賃改定案に係る意見等と市の考え方について

意見募集期間 令和5年12月1日（金）から令和6年1月5日（金）まで

意見提出数 8件

意見提出方法 ホームページ内アンケートフォーム（6件）、ファクシミリ（1件）、持参（1件）

No.	意見等（原文ママ）	意見等の概要	市の考え方
1	<p>反対</p> <p>そもそも、唯一駅がない+モノレールの工事もだらだらといつできるか分からない状態で、街の唯一の交通インフラであるシャトルの値上げをする意味がわからない。</p> <p>みんなが車を持ってる訳でもないし、車で行ける場所では無いから利用している使わなければならない必須の貴重なインフラ。</p> <p>また、料金改定案を見ていても働く大人ばかりから搾取してるように思える。武蔵村山は基本的に高齢化、老人が多いのでシルバーパスを利用してるものが多いのでは？そこからお金を取らずに(無料だったため)バス以外でも税金を払っている一般からこれ以上取らないで欲しい。</p> <p>重複して申し訳ないが、武蔵村山は高齢者が多い。みな平等に扱うべき。そうしなければ取れる財政も無いのではないかと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定には反対。 ・ シルバーパス利用者も含め平等に料金設定を検討するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスは、路線バスを補完する市民の生活の足として運行を維持するため、市から交付金によって収支欠損額を補填する必要があることは、市民からの理解を得られています。 ・ 一方で、収支欠損額の増加や、それに伴う交付金の増加については、コミュニティバスを利用しない市民からは、利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小されるのはやむを得ないという意見も存在します。 ・ そこで、今回の運賃改定案については、収支改善の観点及び国土交通省の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」の考え方を踏まえ、作成しました。 ・ シルバーバスにつきましては、高齢者福祉の観点から導入しているものであり、運賃改定後も引き続き使用可とします。

No.	意見等（原文ママ）	意見等の概要	市の考え方
2	<p>バス停は至近にあります、元々 走るスピード遅いしかなり遠回りして時間かかるし、本数も少なく、料金も高いので、利用価値低い。これでさらに値上げはありえない。値上げ＝廃止へまっしぐらだと思いました。</p> <p>もう少し バス停を廃止して 乗客数も多く、最短距離で行ける ルートのみを残して あとは廃止していいと思う。</p> <p>無駄なコストは使わない。いちいち、議員のしがらみや、市民の公平性を重視していたら 赤字の垂れ流し。自転車使う人には まったく意味のないバス。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定には、反対。 ・ バスのルートや運行本数、料金設定を見直し、無駄なコストがかからないようにしたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスは、路線バスを補完する市民の生活の足として運行を維持するため、市から交付金によって収支欠損額を補填する必要があることは、市民からの理解を得られています。 ・ 一方で、収支欠損額の増加や、それに伴う交付金の増加については、コミュニティバスを利用しない市民からは、利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小されるのはやむを得ないという意見も存在します。 ・ そこで、今回の運賃改定案については、収支改善の観点及び国土交通省の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」の考え方を踏まえ、作成しました。 ・ バスルートにつきましては、引き続き、バスの利用状況や収支状況、利用者のニーズなどを踏まえながら適宜見直してまいります。
3	<p>値上げは人件費や燃料費を考えれば 210 円なら致し方ない。</p> <p>しかし、上北台ルートが朝夕と昼間が違うのは問題かと。</p> <p>三ツ木地区会館は公共施設なのに昼間のバスが通らないのは問題かと。</p> <p>かつ、近辺の新青梅街道付近は老人も多く、バスを昼間も通せば老人引きこもり問題も</p> <p>「シルバーバスが使えるなら！」</p> <p>と少なからず乗って出かける人も増える事でしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定は致し方ない。 ・ 朝夕と日中のルートが異なることや、日中ルートで停車しない公共施設があるのは問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスルートにつきましては、引き続き、バスの利用状況や収支状況、利用者のニーズなどを踏まえながら適宜見直してまいります。

No.	意見等（原文ママ）	意見等の概要	市の考え方
4	<p>家族がそれぞれ通勤・通学のために利用しております。普段は上北台・玉川上水まで自転車利用ですが、雨天時はMMシャトルが大変便利で有り難く思っております。ただ定期券が使えない事、学生の割引が使えないのが難点です。初乗り料金値上げがやむを得ないとしても、せめて学生割引が使えるように、また定期券利用ができるように検討していただけないでしょうか。高校生が学校に行くのに高い金額を払わなければいけないのは、家計の負担にもなります。</p> <p>また通勤時間帯の本数が増えると有り難いです。よろしく願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定はやむを得ない。 ・ 定期券や学生割引が使えるようにしてもらいたい。 ・ 通勤時間帯の運行本数を増便してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ MM シャトル（均一運賃制）において定期券を導入した場合、路線バスと重複する区間において、路線バスより安価になる可能性があるため、定期券の導入はしていません。また、学生割引については、路線バス同様、導入はしていません。 ・ バスルートにつきましては、引き続き、バスの利用状況や収支状況、利用者のニーズなどを踏まえながら適宜見直してまいります。
5	<p>諸事情を勘案すれば改定案の内容（料金アップ）は同意できます。</p> <p>何れにしても、陸の孤島と化していますし、市民の足としてバスは必要不可欠と考えます。</p> <p>さらに言うと、西武球場前駅までの路線検討をお願いしたい気持ちです</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定に同意。 ・ 西武球場前駅までの路線検討をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスルートにつきましては、引き続き、バスの利用状況や収支状況、利用者のニーズなどを踏まえながら適宜見直してまいります。 ・ なお、西武球場前駅までの路線について検討は予定していませんが、貴重な御意見として賜ります

No.	意見等（原文ママ）	意見等の概要	市の考え方
6	<p>MM シャトルの運賃改定（値上げ）は必要だと感じます。燃料費、人件費の増加に加えて、2024年4月から運輸業界にも適応される「働き方改革関連法」により、更に経費は増加する見込みです。</p> <p>収支欠損額が増加し、交付金の額が増加することは必然だと思います。</p> <p>持続可能な公共交通とするには、利用者様の利便性、安価性を重視すると困難な状況になります。</p> <p>加えて、同じ公共交通である「むらタク」にも同じ事が言えると思います。</p> <p>収支改善を図る為には、運賃改定（値上げ）が一番現実的な手段だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費、人件費、働き方改革などを考慮すれば、運賃改定は必要。 ・むらタクについても、収支改善を図るには、運賃改定を行うことが現実的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「むらタク」は、コミュニティバスを補完する役割を持つ交通手段として位置付けています。引き続き、利用状況や収支状況などを地域公共交通会議に報告し、意見をいただきながら必要に応じ対応していくこととします。
7	<p>武蔵村山市大南にある実家に帰省するときに MM シャトル玉川上水ルートを利用しています。帰省中も玉川上水駅から電車に乗るときには MM シャトルを利用しています。</p> <p>一気に 30 円も運賃が上がると、バスを諦めて徒歩で行動する人が増え、利用客減で減便してしまわないか心配です。</p> <p>運賃の値上げは仕方ないと思いますが、今回は 10 円程度の値上げにしておくのが良いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃の値上げは仕方がない。 ・ 利用者の減少に繋がらないよう 10 円程度の値上げにしておくのが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバスは、路線バスを補完する市民の生活の足として運行を維持するため、市から交付金によって収支欠損額を補填する必要があることは、市民からの理解を得られています。 一方で、収支欠損額の増加や、それに伴う交付金の増加については、コミュニティバスを利用しない市民からは、利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小されるのはやむを得ないという意見も存在します。 そこで、今回の運賃改定案については、収支改善の観点及び国土交通省の「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」の考え方を踏まえ、作成しました。
No.	意見等（原文ママ）	意見等の概要	市の考え方

8	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃改定は、人件費、燃料費等の事を考えれば仕方がない事だと思います。 ・高齢者の増加に伴い、MMシャトルを利用する数は必ず増加すると思います。運転免許の返納（高齢者の）も一因になるはずで、現在利用されている方も将来利用しないとは言えません。 ・10年後に開通するモノレールではきめこまかい公共交通の役割は、になえないと思います。 ・週に2回は利用している私の個人的な印象では、利用者が増えていると思います。私は70才（来年）になりますが、もっと座席が必要な方にと席をゆずっている状況です。（杖を使用されている方、ショッピングカートを使っている方、一区间乗車される方、沢山いらっしゃいます） ・シルバーパスは都の問題なのでしょうが利用料金を上げてもいいのではないかと思います。又シルバーパス利用者の料金との関係性が良く分かりません、知りたいと思います。 ・利用している人の意見をよく聞いて欲しいと常々思っております。よろしく願い致します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃改定は仕方がない。 ・高齢化に伴い、MMシャトルを利用する高齢者は増加すると思う。 ・モノレールには、きめ細かい公共交通の役割は無いと思う。 ・シルバーパス利用者の料金を上げてもいいのではないかと。シルバーパス利用者の料金との関係性を知りたい。 ・利用者の意見をよく聞いてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹的交通となる多摩都市モノレールを中心に、バスやむらタク、シェアサイクルなどの多様な交通手段を組み合わせることにより、誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成が必要であると考えています。 ・ シルバーバスにつきましては、高齢者福祉の観点から導入しているものであり、運賃改定後も引き続き使用可とします。 ・ 今まで同様に、バスのルート再編や運賃の改定時等には、市民、利用者、利害関係者の皆様の御意見をお聞きしてまいります。なお、バスの運行等に関する意見につきましては、常時、担当課で受け付けています。
---	--	---	--